



難攻不落



本年(2020)は、織田信長公国吉城入城450年!!

～三英傑と光秀が天下へ飛躍した国吉城での3日間～

今からちょうど450年前、後に天下統一を果たす織田信長、木下藤吉郎(豊臣秀吉)、徳川家康の”三英傑”、そしてNHK大河ドラマ『麒麟がくる』の主人公、明智光秀が揃って国吉城に入城したことは、意外に知られていません。

元亀元年(1570)4月20日、足利将軍家の上洛命令に従わない若狭国大飯郡石山城主の武藤氏を討伐するため、織田信長率いる約3万の軍勢は京を出陣しました。織田軍のほか、三河国の徳川家康、摂津国守護の池田勝正らは、22日には近江国から若狭国熊川に進みます。その先触れには、将軍足利義昭に仕える明智光秀が入っており(「永禄13年4月20日付明智光秀書状」三宅家文書)、2年前に当主が朝倉氏に拉致された若狭武田家臣団が出迎えました。同23日、熊川を発した軍勢は、石山城を目指すには西に進むところ、突如丹後街道を北上しました。武藤氏征伐は口実で、実態は武藤氏の背後にいる越前朝倉氏攻めだったのです。国吉城主の栗屋勝久は、城内を祓い清めるように家臣に命じ、自身は倉見峠まで信長を出迎え、共に入城しました(『国吉籠城記』)。信長は国吉城に3日間滞在して軍議を重ねました。25日、国吉城を発した軍勢は、敦賀の天筒山城、金ヶ崎城を落とし、一乗谷に進軍しようとした矢先、信長の妹婿である江北の浅井長政は背後を伺う動きを見せたため、京へ撤退しました(金ヶ崎の退き口)。

その後、姉川の合戦で浅井・朝倉連合軍を打ち破り、天下へ飛躍したことは周知のとおりです。当館では今年、「信長公と国吉城」をテーマに、様々な企画を開催します。



天筒山城跡から金ヶ崎城跡を望む

続々登場！国吉城「御城朱印」& 限定御城印帳！！

国吉城の「御城朱印」は、昨夏の開館 10 周年記念限定版に次いで、今年に入り「子年版」と「難攻不落」に肖った「合格祈願版」、2月末の4年に一回の2月29日に合わせた「閏年版」を発行し、大変好評を得ました（現在はいずれも販売終了）。



この他、1月19日から令和2年(2020)の1年限定で、「織田信長公国吉城入城 450 年記念版」と「明智光秀ゆかりの地版」の2種類を販売中です。明智版は、美浜観光協会制作です。

1枚 300 円で、資料館受付で販売しています。来館、国吉城址登城の記念にいかがでしょうか？

昨夏、限定 200 冊で販売した開館 10 周年記念の御城印帳は、大変人気を博し、わずか1ヶ月ほどで完売しました。

その後もご要望が多かったこともあり、織田信長公国吉城入城 450 年記念として、3種類のデザインで各 100 冊ずつ、計 300 冊を新たに作成しました。

仕様は、前回と同じく表面ポケット式のスタイルで、42 枚の御城印を入れることができます。裏面は、通常の御朱印帳として書いていただいたり、スタンプ帳にもなります。

表紙は、織田家の家紋（織田木瓜）と国吉城主粟屋氏の家紋（花菱に扇）を入れ、黒、赤、薄紫の3色ごとにデザインも変えています。

現在は、全国で 200 以上のお城で、300 種類以上の御城印が発行され、毎月新版が登場しています。御城印帳も何冊も必要になること間違いなし！

御城朱印と同様に、1冊 1,800 円で資料館受付で販売中です。また、お一人様 1 種類 1 冊までとさせていただきます。数に限りがありますので、ご希望の方はお早めに…。



※ “桜の御城印” スタート ※

平成 30 年 7 月 7 日、国吉城の御城朱印が誕生し、福井県で御城印の歴史がスタートしました。その後、一乗谷城、丸岡城、大野城が始め、今年に入り金ヶ崎城でも誕生し、県内では5城の御城印が販売中です。

この5城で構成する「越前・若狭御城印運営協議会」の共通キャンペーンとして、「桜版」御城印が各城で販売中です。国吉城では、資料館受付で1枚 300 円で、4月19日(日)までの限定販売です！



冬季トピックス展「城コレ 2020 迎春」大好評！



昔は、中身を食べたら捨ててしまったお土産の包装紙や外箱ですが、最近のお城土産の包装紙や外箱は一工夫加えられ、記念品として取って置きたいお城グッズに…

全国の城を歩いて集めた、当館館長のお城グッズコレクションを展示する人気企画「城コレ」！今回は「お城土産の玉手箱!!」ということで、お菓子の箱やお弁当箱を取り上げました。

お土産づくりに参考となるお城グッズの数々。ぜひご覧ください！4月5日（日）まで。

1年の入館者数が、初めて10,000人を突破しました!!

10年前の開館から、毎年少しずつ入館者を伸ばし、3年前に5,000人を超え、昨年度8,567人を記録し、今年度は遂に10,000人を突破！…3月29日現在で11,398名にご来館いただきました。今年度もあと1日！

「からくりカレンダーづくり」を開催

令和2年1月11日、折り紙クラブ様による「からくりカレンダー作り」が開催されました。



テレビ取材が入りました

令和2年1月23日、FBC放送「ふれあい若狭」の取材を受けました。



2020年3月29日現在 来館者数は…

58,380名

【館長室へようこそ】

冒頭でご紹介したとおり、今年(2020)は織田信長が豊臣秀吉や徳川家康、明智光秀らを引き連れて国吉城に入城して450年目になります!(^^)!

元亀元年(1570)4月23日に佐柿に入り、翌日も逗留したと『信長公記』にありますし、軍記『国吉籠城記』諸本には、国吉城内での信長らの動向も詳細に記されていますから、ほぼ間違いのない史実です。歴史上の有名人が美浜町に足跡を残しているって、歴史浪漫を感じますわ…(*^^)

あれから450年…(笑)、かつては大勢の軍勢が駐屯した国吉城ですが、今年度は本当にたくさんのお客様にご来館いただき、城址にも大勢の方が足を運んでくれています。信長が寝泊まりしたかもしれない城主居館跡、信長が登ったかもしれない城道、本丸から眺める眺望は信長も見たかもしれない風景…450年の時を越えて、信長とシンクロできる国吉城です(#^^#)

4月23日まであと1ヶ月足らず、何か新展開で皆様を驚かすことが出来たらよいな〜…と思いつつ、新型コロナウイルス感染対策で何時から休館対応になるかを心配する今日この頃…(汗)

新型コロナウイルスの感染予防にご協力ください!



資料館では入館時のアルコール消毒、マスクの着用及び入館者名簿へのご記入をお願いしております。

つい、ひとりごと…

まともな雪も降らない暖冬もう終わりを迎え、資料館横の梅の花も終わり、春の到来が聞こえてきました。新型コロナウイルスの脅威が心配ですね。客足が遠のくのではと心配です。早く終息するよう祈るだけです。 bird

発行・編集 若狭国吉城歴史資料館

〒919-1132 福井県三方郡美浜町佐柿 25-2

TEL 0770-32-0050 FAX 0770-32-0057